



もっと「芝生」を身近に! 「東京芝生応援団」 をPR

主催 / 企画
東京・銀座ソニービル



◀ 1966年の開館以来銀座のランドマーク的存在である「ソニービル」

3月9日～17日の期間、ソニービル正面玄関前イベント広場に、天然芝生と管理機械が出現した。これは「東京芝生応援団」に加盟するソニー企業(株)の活動の一環として企画されたものである。

資材を提供したのは、やはり「東京芝生応援団」に参加している(株)共栄社で、「全国の校庭緑化がますます進んでいきますようにお手伝いをさせていただきます」と同社 営業部特機販売課早川智課長は語っている。

「東京芝生応援団」は芝生の維持管理に携わる東京都の学校校庭芝生化の一層の推進を図ることを目的とし、2006年に設立された。「ソニーグループのCSR活動の一環として、応援団の発足当初から、来館者100万人ごとに、校庭芝生化に関する資材、備品などを学校に提供しています」(ソニービル館長・箭内和久氏)

ソニービルの年間来館者は約400万人とのことなので、1年につき約4校に提供している計算となる。

「昨年の6月にも展示したのですが、銀座という場所のインパクトがあったようで、大きな反響がありました。今回はパネルの大きさも4割増しです。今後も機会を見つけPRしていきたいですね」と箭内館長は笑顔を見せた。



手押し式芝刈り機「LM4D」(手前)と肥料散布機「MS25A」



箭内和久館長「たまに私も芝を刈るんですが、切れ味抜群です」